

第41回神奈川不整脈研究会プログラム

日時:2009年2月7日(土) 常任幹事・幹事会: 3:30pm~4:00pm、研究会: 4:00pm~7:40pm

会場:ブリーズベイホテル 4F「風 待」横浜市中区花咲町 1-22-2 TEL: 045-253-5555

会長:石川 利之(横浜市立大学附属病院 循環器内科)

開会あいさつ 会長 石川 利之

16:00~17:15 教育セッション

座長: 田邊 晃久(東海大学医学部 循環器内科)
西崎 光弘(横浜南共済病院 循環器内科)

『心室頻拍の電気生理学的検査、三次元画像からの診断』

原田 智雄 先生(川崎市立多摩病院 循環器科 部長)

『症例から学ぶ心室頻拍』

野上 昭彦 先生(横浜労災病院 冠疾患集中治療部 部長)

質疑応答(15分)

17:15~17:20 休憩

17:20~18:35 一般演題 ※質疑応答含め1演題15分以内でお願いします。

座長: 住田 晋一(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

1. 『僧帽弁形成術後の持続する心房粗細動に対しカテーテルアブレーションを行い心機能の改善をみた1症例』
横浜総合病院ハートセンター
竹中 創、中村光哉、大塚雅人、梅田 研、東田隆治
2. 『通電中に肺静脈電位の double response を認めた発作性心房細動の1例』
昭和大学藤が丘病院循環器内科
下島 桐、東 祐圭、若月大輔、鈴木 洋、嶽山陽一
3. 『頻拍中に室房伝導ブロックを認めた房室結節リエントリー性頻拍の一例』
横浜労災病院・循環器内科
小和瀬晋弥、田中真吾、安西 耕、宮本美穂子、荻ノ沢泰司、杉安愛子、窪田彰一、黒崎健司、野上昭彦

4. 『右心耳に心房端があると思われた顕性右側副伝導路のカテーテルアブレーションに成功した一例』

横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター内科

前田峰孝、杉山浩二、志村吏左、瀬戸口雅彦、青柳秀史、宮城直人、倉林学、
畔上幸司、沖重薫

5. 『Coronary Spasm に合併した多形性 VT および VF の 1 例』

横浜南共済病院 循環器内科

島田博史、藤井洋之、浅野充寿、井原健介、村井典史、鈴木秀俊、前田真吾、
足利貴志、山分規義、西崎光弘

18:35~18:40 休 憩

18:40~19:40 特別講演

座長：石川 利之（横浜市立大学附属病院 循環器内科）

『E n S i t e ガイド下の心房細動のアブレーション：何が見え、何ができ、何に気をつけるか』

土谷 健 先生（EP Expert Doctors—Team Tsuchiya 代表）

閉会あいさつ 代表幹事 田邊 晃久

19:40~21:00 懇親会及び医療機器展示